

令和6年5月21日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室  
縦断調査管理官 菅沼 伸至  
室長補佐 清水 美奈 (内線 7473)  
(担当) 出生児縦断統計係 (内線 7566)  
(代表電話) 03(5253)1111  
(直通電話) 03(3595)2321

## 第13回21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）の概況

### 目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
1 母の就業状況の変化	3 頁
2 子どもの状況	
(1) 家庭での会話	5 頁
(2) 将来（進路、結婚、最初の子どもを持つ時期）	6 頁
(3) 将来就きたい職業・子どもに将来就いてほしい職	7 頁
統計表	9 頁
用語の定義	14 頁

この結果は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

アドレス（<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/syusseiji/22/index.html>）

# 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、同一客体を長年にわたって追跡する縦断調査として、平成 22 年に出生した子の実態及び経年変化の状況を継続的に観察するとともに、21 世紀の初年である平成 13 年に出生した子を継続的に観察している調査との比較対照等を行うことにより、少子化対策等の施策の企画立案、実施等のための基礎資料を得ることを目的としている。

## 2 調査の対象

全国の平成 22 年（2010 年）5 月 10 日から同月 24 日の間に出生した子を対象とし、厚生労働省が人口動態調査の出生票を基に調査客体を抽出した。双子、三つ子についてもそれぞれの子を対象としている。

第 13 回調査における対象児は 13 歳（中学 1 年生）である。

## 3 調査の時期

令和 5 年 5 月 25 日とした。

（参考：第 1 回調査から第 6 回調査は 12 月 1 日とし、第 7 回調査以降 5 月 25 日とした。）

## 4 調査事項

保護者…父母の就業状況、子育てに関する意識、子どもに将来就いてほしい職業 等  
子ども…家族の状況、父母との会話、将来について、就きたい職業 等

## 5 調査の方法及び結果の集計

調査票の配布及び回収は郵送により行った。第 10 回調査からインターネットによるオンライン回答も可能とした。

なお、結果の集計は、厚生労働省政策統括官において行った。

## 6 調査票の回収状況等

調査票の配布数及び回収数は次のとおりである。

	配布数	回収数	回収率
第 1 回	43,767	38,554	88.1%
第 2 回	38,523	33,356	86.6%
第 3 回	37,582	32,380	86.2%
第 4 回	34,563	29,582	85.6%
第 5 回	32,830	28,161	85.8%
第 6 回	30,705	27,785	90.5%
第 7 回	29,434	25,397	86.3%
第 8 回	28,511	24,441	85.7%
第 9 回	27,397	24,204	88.3%
第 10 回	26,141	24,041	92.0%
第 11 回	25,362	23,216	91.5%
第 12 回	24,790	22,278	89.9%
<b>第 13 回</b>	<b>24,755</b>	<b>20,830</b>	<b>84.1%</b>

## 7 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は四捨五入しているため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。  
なお、各図表は集計客体が異なるため、脚注にそれぞれ総数を掲載している。
- (2) 調査回における対象児の年齢は以下のとおりである。

調査回	対象児の年齢
第1回調査	月齢6か月
第2回調査	1歳6か月
第3回調査	2歳6か月
第4回調査	3歳6か月
第5回調査	4歳6か月
第6回調査	5歳6か月
第7回調査	7歳（小学1年生）
第8回調査	8歳（小学2年生）
第9回調査	9歳（小学3年生）
第10回調査	10歳（小学4年生）
第11回調査	11歳（小学5年生）
第12回調査	12歳（小学6年生）
第13回調査	13歳（中学1年生）

注：第7回調査（7歳）は、第6回調査（5歳6か月）から1年6か月後に実施した。

- (3) 表章記号の規約

統計項目のあり得ない場合	・
比率が微小（0.05未満）の場合	0.0

- (4) 「21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」と「21世紀出生児縦断調査（平成22年出生児）」の結果を比較する際は、それぞれを「平成13年出生児」、「平成22年出生児」としている。  
なお、「21世紀出生児縦断調査（平成13年出生児）」は、平成13年1月10日から同月17日の間及び7月10日から同月17日の間に出生した子を対象としたものである。
- (5) 本概況3～4頁「1 母の就業状況の変化」及び統計表1～2に記載している「出産1年前」、「出産半年後」の「出産」とは、調査対象である子の出産をいう。
- (6) 第12回調査までは、同じ調査票に子どもと保護者が回答する方法としていたが、第13回調査では、平成13年出生児、平成22年出生児とも対象児本人用と保護者用として調査票を分冊し、それぞれが回答する方法とした。

# 結果の概要

## 1 母の就業状況の変化

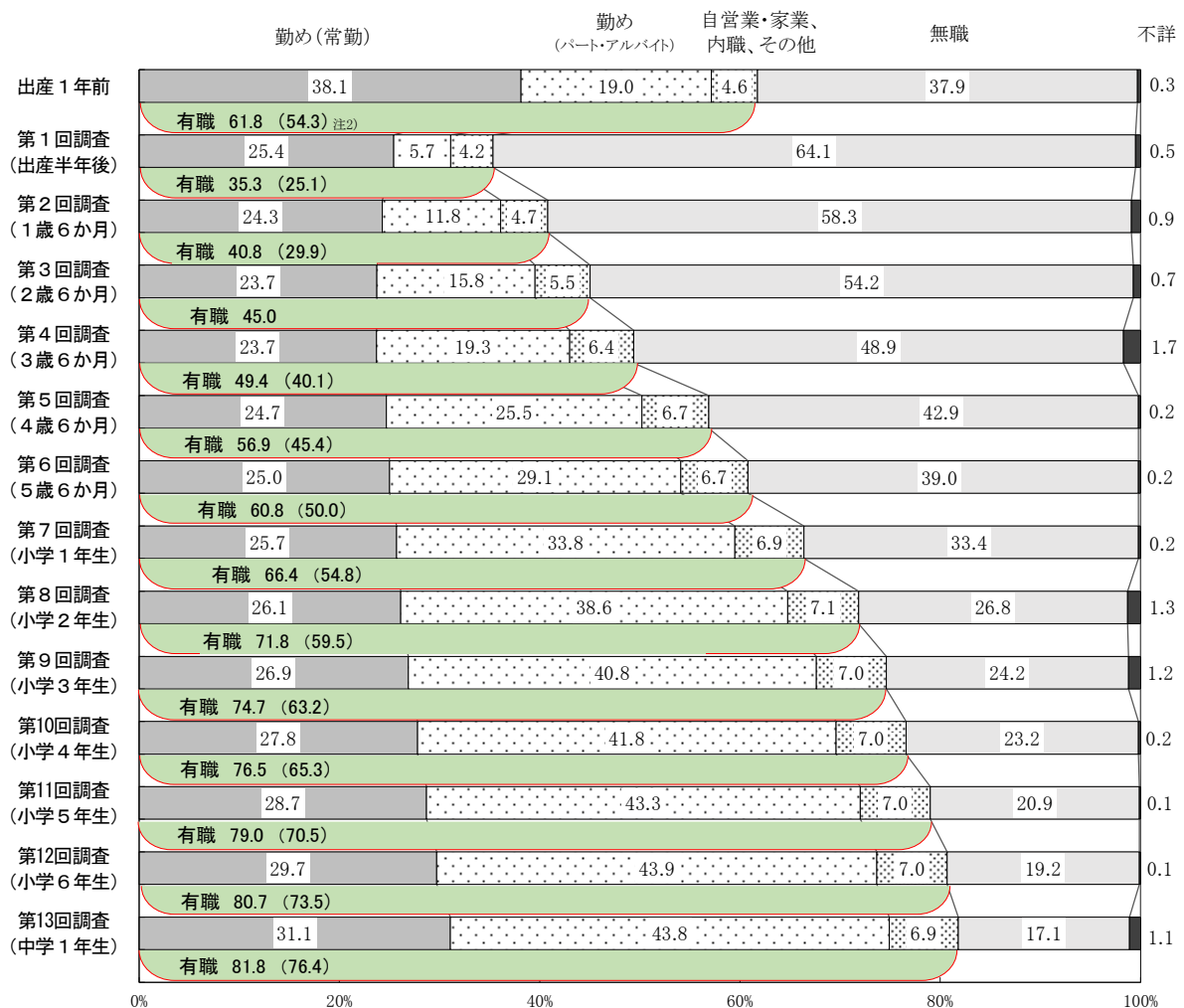
母が有職の割合は第13回調査（中学1年生）で81.8%となり、平成13年出生児（第13回）の76.4%に比べて5.4ポイント高い

母が有職の割合は、出産1年前の61.8%が第1回調査（出産半年後）で35.3%に低下したが、その後は年々上昇し、第13回調査（中学1年生）では81.8%となり、平成13年出生児（第13回）の76.4%に比べて5.4ポイント高くなっている。

母の就業状況の変化をみると、「勤め（常勤）」の割合は、第4回調査（3歳6か月）の23.7%から第13回調査（中学1年生）の31.1%までゆるやかな上昇傾向であり、「勤め（パート・アルバイト）」の割合は、第1回調査（出産半年後）の5.7%から年々上昇し、第13回調査（中学1年生）では43.8%となっている。

また、平成22年出生児の各回における母が有職の割合は、平成13年出生児に比べていずれも高くなっている。（図1）

図1 母の就業状況の変化・世代間比較



注：1）平成22年出生児の第1回調査から第13回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数 15,889）を集計。

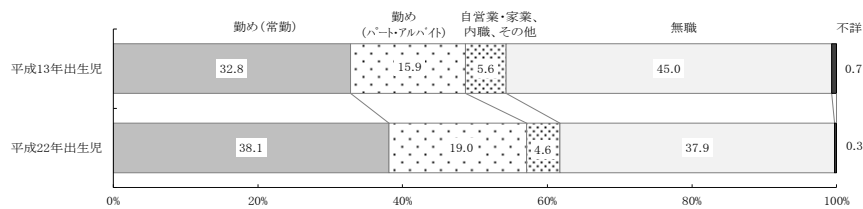
2）（ ）内の数値は、平成13年出生児の第1回調査から第13回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（総数 25,461）を集計したものである。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母のうち、第1回調査から第13回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は、平成22年出生児では33.4%で、平成13年出生児の24.4%に比べて9.0ポイント高い

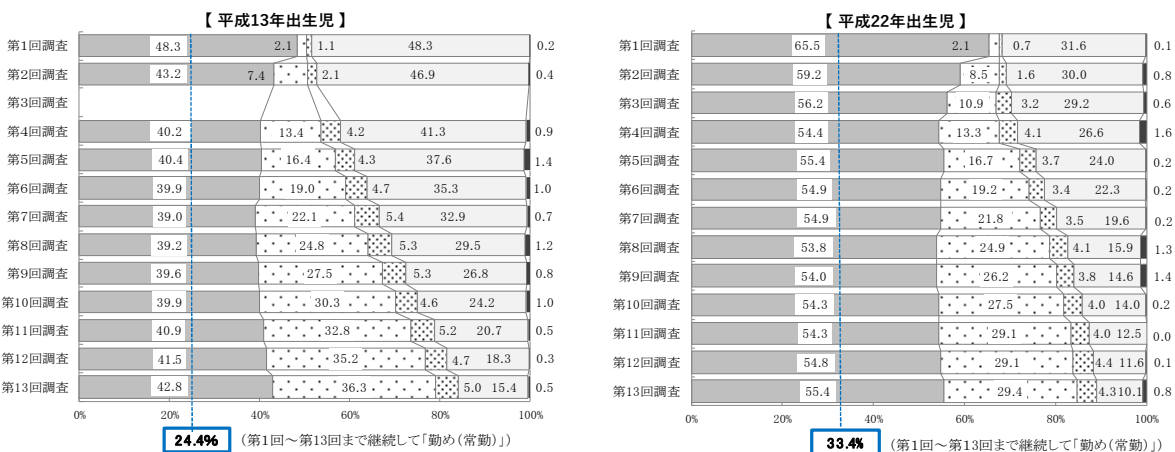
出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母について、第1回調査から第13回調査までの就業状況の変化をみると、平成22年出生児の各回における「勤め（常勤）」の母の割合は平成13年出生児よりも高い割合で推移し、さらに、第1回調査から第13回調査まで継続して「勤め（常勤）」の母の割合は平成22年出生児では33.4%で、平成13年出生児の24.4%に比べて9.0ポイント高くなっている（図2）。

図2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較

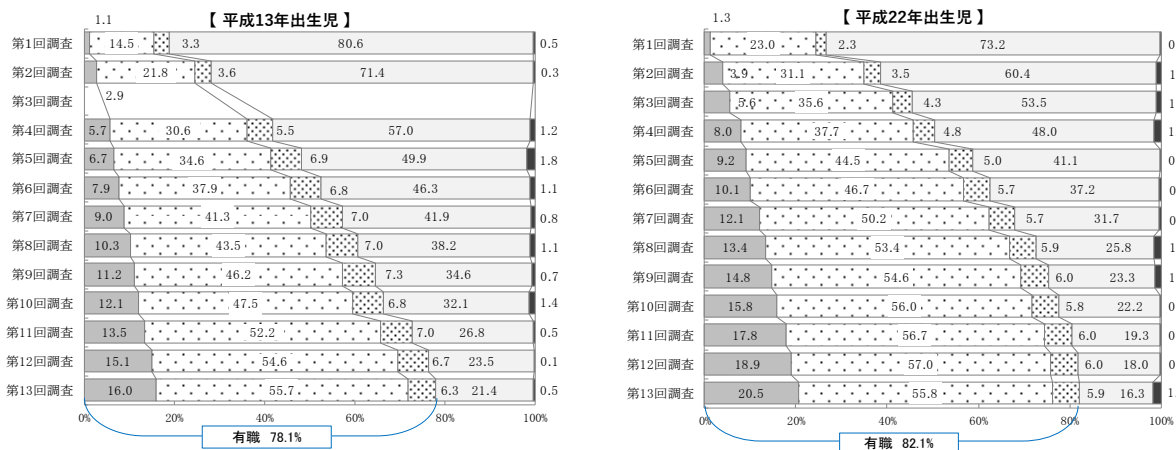
(1) 出産1年前の母の就業状況



(2) 出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」の母の就業状況の変化



(3) 出産1年前の就業状況が「勤め（パート・アルバイト）」の母の就業状況の変化



注：第1回調査から第13回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者（平成13年出生児総数25,461、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」8,358、「勤め（パート・アルバイト）」4,057、平成22年出生児総数15,889、出産1年前の就業状況が「勤め（常勤）」6,061、「勤め（パート・アルバイト）」3,025）を集計。なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

## 2 子どもの状況

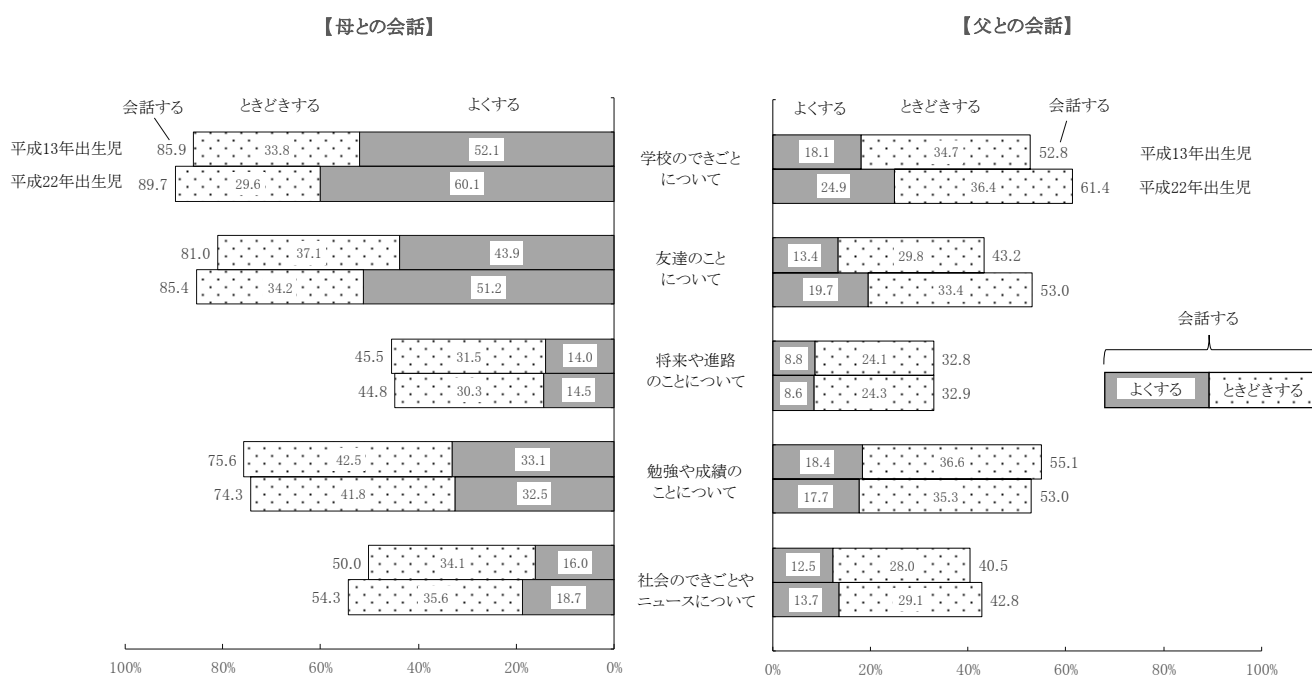
### (1) 家庭での会話

母、父と会話をする割合を平成13年出生児と比べると、母、父ともに「学校のできごとについて」「友達のことについて」が上昇している

平成22年出生児について、母、父と会話をする（「よくする」「ときどきする」）割合は、「学校のできごとについて」が母89.7%、父61.4%と最も高く、次いで母では「友達のことについて」が85.4%、父では「友達のことについて」「勉強や成績のことについて」が53.0%と高くなっている。

平成13年出生児と比べると、母、父ともに「学校のできごとについて」「友達のことについて」「社会のできごとやニュースについて」が上昇している。また、父との会話では「友達のことについて」が9.8ポイント、「学校のできごとについて」が8.6ポイント上昇しており、母との会話と比べて、父と会話をする割合が大きく上昇している。（図3）

図3 母、父との会話の割合の変化・世代間比較



注：第13回調査の回答を得た者のうち、母との会話は母と同居している者（平成13年出生児総数29,793、平成22年出生児総数20,229）、父との会話は父と同居している者（平成13年出生児27,117、平成22年出生児18,739）を集計。

## (2) 将来（進路、結婚、最初の子どもを持つ時期）

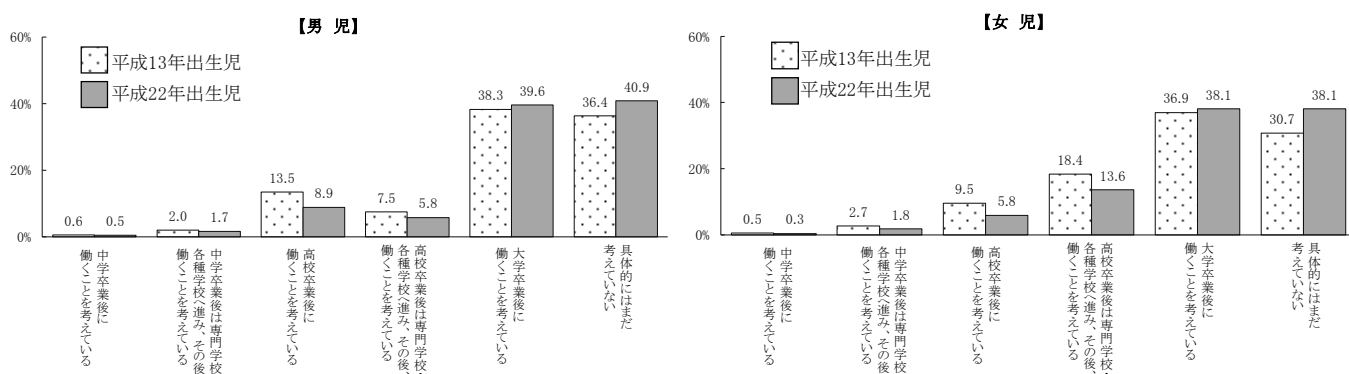
子ども自身が考える将来は、男児・女児ともに「具体的にはまだ考えていない」の割合が最も高く、平成13年出生児と比べて上昇している

子ども自身が考える将来（進路、結婚、最初の子どもを持つ時期）は、男児・女児ともに「具体的にはまだ考えていない」の割合が最も高い。これを平成13年出生児と比べると、「具体的にはまだ考えていない」はいずれの項目でも上昇している。

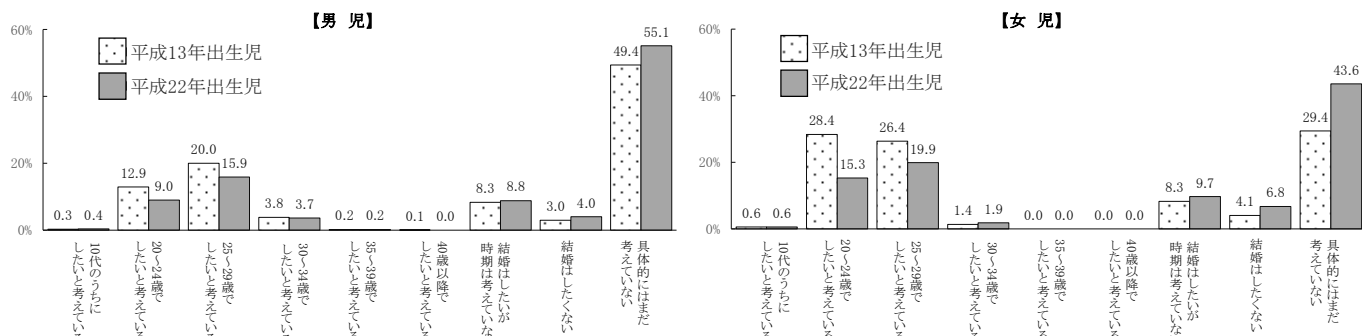
また、「具体的にはまだ考えていない」以外の回答をみると、「進路」では「大学卒業後に働くことを考えている」、「結婚」では「25～29歳でしたいと考えている」、「最初の子どもを持つ時期」では「25～29歳で持ちたいと考えている」が、男児・女児ともに高くなっている。（図4）

図4 子ども自身が考える将来の世代間比較

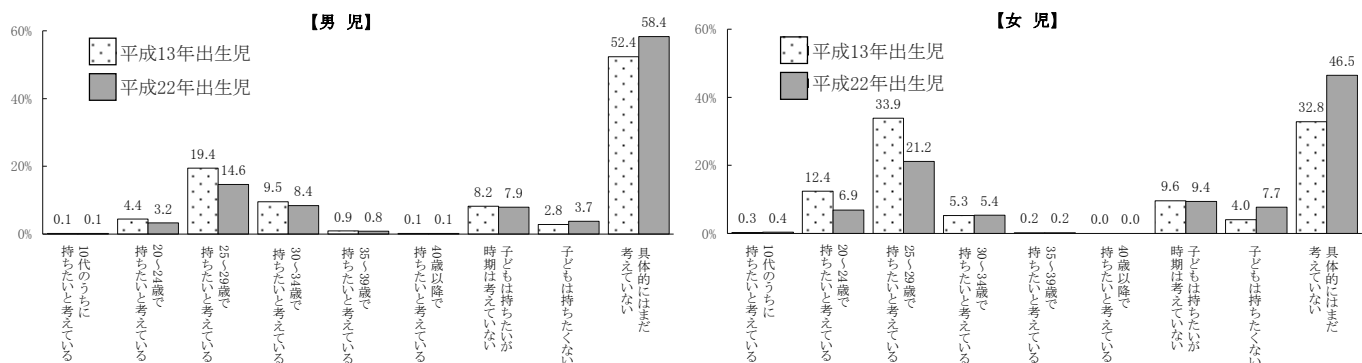
### 【進路について】



### 【結婚について】



### 【最初の子どもを持つ時期について】



注：第13回調査の回答を得た者（平成13年出生児男児15,663、女児14,668、平成22年出生児男児10,622、女児10,208）を集計。

### (3) 将来就きたい職業・子どもに将来就いてほしい職

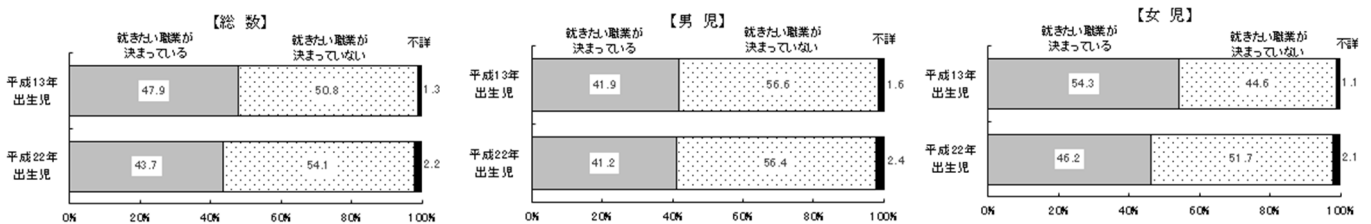
将来就きたい職業が決まっている子どもがその職業に就きたい理由は、「自分の興味や好みにあっているから」の割合が最も高く、保護者が子どもに将来就いてほしい職も、「子ども自身が望む職」の割合が最も高い

平成 22 年出生児について、将来就きたい職業が決まっている子どもの割合は 43.7%と、平成 13 年出生児の 47.9%と比べて、4.2 ポイント低くなっている。これを性別にみると、男児が 41.2%、女児が 46.2%となっている（図 5）。

さらに、将来「就きたい職業が決まっている」と答えた子どもについて、子どもがその職業に就きたい理由と、保護者が子どもに将来就いて欲しい職をそれぞれみると、男児・女児ともに「自分の興味や好みにあっているから」（子ども）・「子ども自身が望む職」（保護者）の割合が最も高く、次いで「自分の能力や適性が生かせるから」（子ども）・「本人の才能を生かせる職」（保護者）となっている。

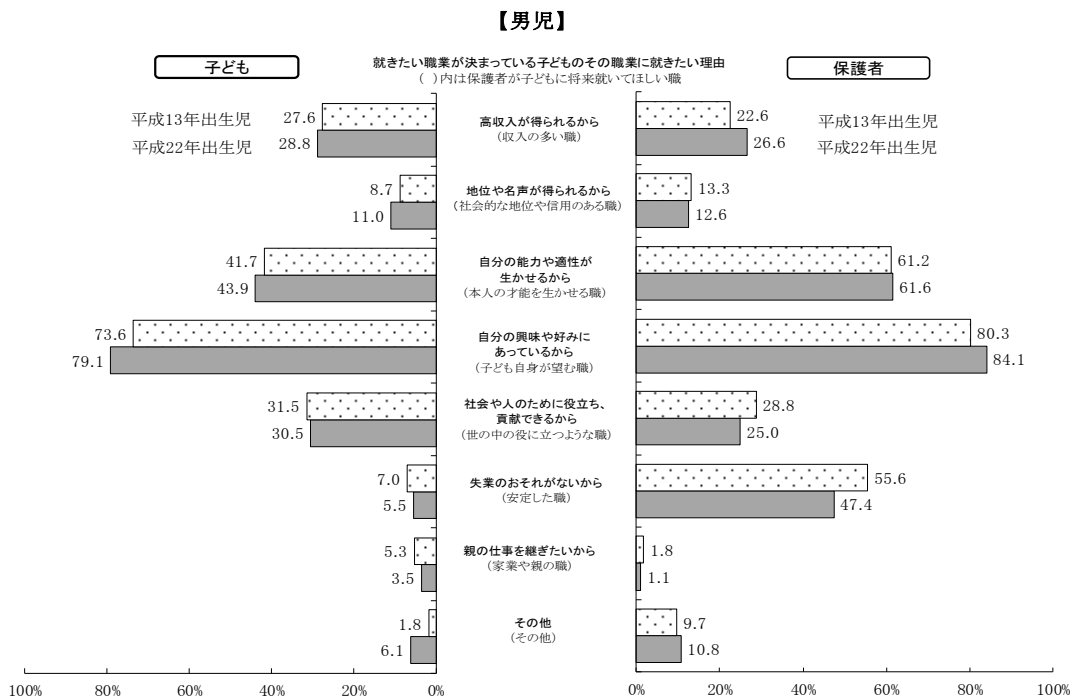
一方、子どもと保護者で違いがみられるのは、「失業のおそれがないから」（子ども）・「安定した職」（保護者）で、男児・女児ともに保護者の割合が高いのに対し、子どもの割合は低くなっている。（図 6）

図 5 子どもの将来就きたい職業の有無の世代間比較



注：第 13 回調査の回答を得た者（平成 13 年出生児総数 30,331、男児 15,663、女児 14,668、平成 22 年出生児総数 20,830、男児 10,622、女児 10,208）を集計。

図 6 子どもが将来その職業に就きたい理由（複数回答）と保護者が子どもに将来就いてほしい職（複数回答）の世代間比較

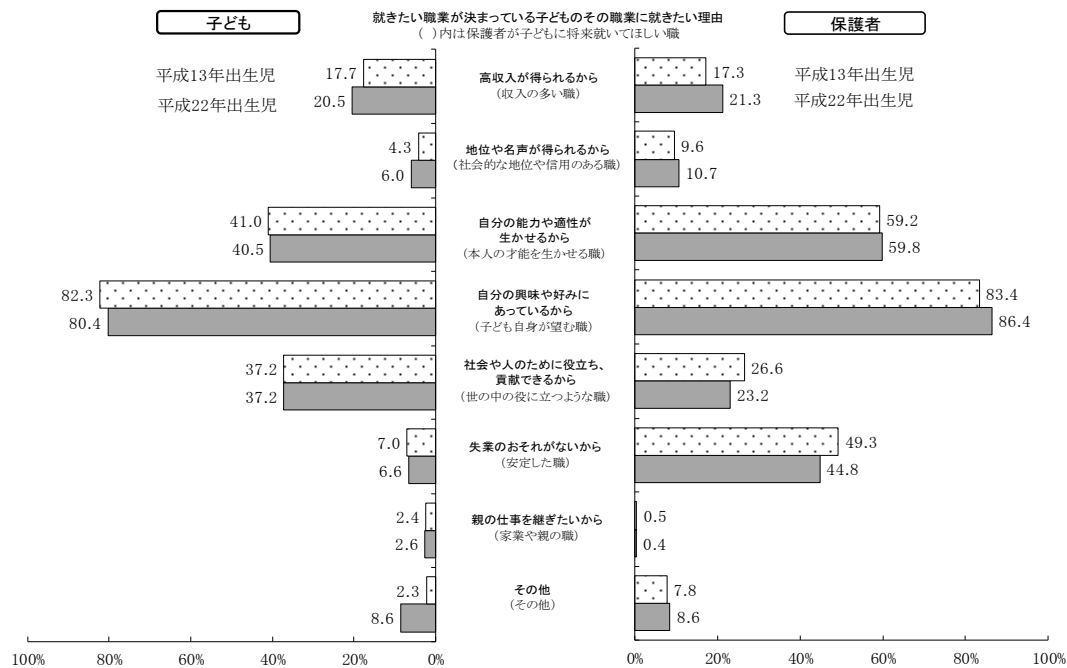


注：1) 第 13 回調査の回答を得た者のうち、「就きたい職業が決まっている」と回答した者（平成 13 年出生児男児 6,559、平成 22 年出生児男児 4,375）を集計。

2) 保護者の「その他」には、「職は問わない（とにかく働いてほしい）」「その他」を含む。



## 【女兒】



注：1) 第13回調査の回答を得た者のうち、「就きたい職業が決まっている」と回答した者（平成13年出生児女児7,964、平成22年出生児女児4,719）を集計。

2) 保護者の「その他」には、「職は問わない（とにかく働いてほしい）」「その他」を含む。

# 統計表

統計表1 母の就業状況の変化・世代間比較（3頁図1）

（単位：人）

就業状況 調査回	平成22年出生児						平成13年出生児	
	総数	勤め (常勤)	勤め (パート・ アルバイト)	自営業・ 家業、内職、 その他	無職	不詳	総数	有職
出産1年前	15 889	6 061	3 025	727	6 025	51	25 461	13 833
第1回調査(出産半年後)	15 889	4 035	905	674	10 188	87	25 461	6 397
第2回調査	15 889	3 857	1 871	747	9 267	147	25 461	7 603
第3回調査	15 889	3 759	2 515	880	8 617	118	25 461	・
第4回調査	15 889	3 763	3 073	1 019	7 770	264	25 461	10 217
第5回調査	15 889	3 918	4 051	1 066	6 818	36	25 461	11 572
第6回調査	15 889	3 966	4 631	1 070	6 189	33	25 461	12 720
第7回調査	15 889	4 087	5 368	1 089	5 306	39	25 461	13 954
第8回調査	15 889	4 154	6 134	1 123	4 266	212	25 461	15 160
第9回調査	15 889	4 274	6 479	1 109	3 841	186	25 461	16 083
第10回調査	15 889	4 416	6 641	1 105	3 694	33	25 461	16 629
第11回調査	15 889	4 562	6 886	1 106	3 316	19	25 461	17 950
第12回調査	15 889	4 723	6 977	1 120	3 051	18	25 461	18 725
第13回調査	15 889	4 938	6 965	1 101	2 718	167	25 461	19 441

注：第1回調査から第13回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。  
なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表 2 出産1年前の就業状況別にみた母の就業状況の変化・世代間比較 (4頁図2)

(単位:人)

調査回	就業状況	総数	勤め (常勤)	勤め(パート・ アルバイト)	自営業・家業、 内職、その他	無職	不詳	(再掲) 第1回調査から 第13回調査まで 継続して「勤め (常勤)」の母
<b>(1) 出産1年前の母の就業状況</b>								
平成13年	出生児	25 461	8 358	4 057	1 418	11 449	179	
平成22年	出生児	15 889	6 061	3 025	727	6 025	51	
<b>(2) 出産1年前の就業状況が「勤め(常勤)」の母の就業状況の変化</b>								
平成13年	出生児							
	第1回調査	8 358	4 041	178	89	4 034	16	・
	第2回調査	8 358	3 608	619	179	3 916	36	・
	第3回調査	8 358	・	・	・	・	・	・
	第4回調査	8 358	3 362	1 120	350	3 452	74	・
	第5回調査	8 358	3 374	1 367	356	3 145	116	・
	第6回調査	8 358	3 339	1 591	392	2 954	82	・
	第7回調査	8 358	3 257	1 845	448	2 751	57	・
	第8回調査	8 358	3 280	2 069	440	2 466	103	・
	第9回調査	8 358	3 312	2 295	441	2 244	66	・
	第10回調査	8 358	3 339	2 531	386	2 020	82	・
	第11回調査	8 358	3 416	2 741	433	1 729	39	・
	第12回調査	8 358	3 467	2 944	391	1 527	29	・
	第13回調査	8 358	3 579	3 034	418	1 288	39	2 042
平成22年	出生児							
	第1回調査	6 061	3 972	128	42	1 915	4	・
	第2回調査	6 061	3 586	513	98	1 818	46	・
	第3回調査	6 061	3 405	658	192	1 769	37	・
	第4回調査	6 061	3 296	807	248	1 612	98	・
	第5回調査	6 061	3 355	1 014	227	1 455	10	・
	第6回調査	6 061	3 326	1 161	208	1 353	13	・
	第7回調査	6 061	3 326	1 324	212	1 187	12	・
	第8回調査	6 061	3 258	1 512	248	963	80	・
	第9回調査	6 061	3 274	1 586	231	886	84	・
	第10回調査	6 061	3 292	1 669	240	848	12	・
	第11回調査	6 061	3 290	1 766	244	758	3	・
	第12回調査	6 061	3 321	1 765	265	703	7	・
	第13回調査	6 061	3 359	1 782	259	611	50	2 023
<b>(3) 出産1年前の就業状況が「勤め(パート・アルバイト)」の母の就業状況の変化</b>								
平成13年	出生児							
	第1回調査	4 057	44	590	132	3 269	22	
	第2回調査	4 057	119	883	146	2 895	14	
	第3回調査	・	・	・	・	・	・	
	第4回調査	4 057	232	1 241	222	2 312	50	
	第5回調査	4 057	271	1 405	281	2 026	74	
	第6回調査	4 057	321	1 538	275	1 880	43	
	第7回調査	4 057	364	1 675	286	1 700	32	
	第8回調査	4 057	416	1 764	283	1 549	45	
	第9回調査	4 057	455	1 874	295	1 404	29	
	第10回調査	4 057	490	1 929	276	1 304	58	
	第11回調査	4 057	546	2 119	285	1 088	19	
	第12回調査	4 057	612	2 214	270	955	6	
	第13回調査	4 057	650	2 260	257	869	21	
平成22年	出生児							
	第1回調査	3 025	38	696	71	2 215	5	
	第2回調査	3 025	119	940	106	1 826	34	
	第3回調査	3 025	168	1 077	130	1 619	31	
	第4回調査	3 025	243	1 141	146	1 452	43	
	第5回調査	3 025	279	1 346	150	1 243	7	
	第6回調査	3 025	307	1 414	172	1 124	8	
	第7回調査	3 025	367	1 518	172	958	10	
	第8回調査	3 025	406	1 615	179	781	44	
	第9回調査	3 025	447	1 651	182	706	39	
	第10回調査	3 025	478	1 693	176	672	6	
	第11回調査	3 025	539	1 716	181	583	6	
	第12回調査	3 025	573	1 723	181	546	2	
	第13回調査	3 025	619	1 688	177	493	48	

注：第1回調査から第13回調査まですべて回答を得た者のうち、ずっと「母と同居」の者を集計。

なお、平成13年出生児の第3回調査では母の就業状況を調査していない。

統計表3 母、父との会話の割合の変化・世代間比較（5頁図3）

（単位：人）

	総数	する			しない			不詳
		よくする	ときどきする	しない	あまりしない	まったくしない		
母との会話								
学校のできごとについて								
平成13年出生児	29 793	25 600	15 533	10 067	4 045	3 337	708	148
平成22年出生児	20 229	18 147	12 161	5 986	2 019	1 669	350	63
友達のことについて								
平成13年出生児	29 793	24 127	13 070	11 057	5 427	4 480	947	239
平成22年出生児	20 229	17 275	10 357	6 918	2 852	2 357	495	102
将来や進路のことについて								
平成13年出生児	29 793	13 548	4 166	9 382	15 957	11 454	4 503	288
平成22年出生児	20 229	9 055	2 935	6 120	11 021	7 941	3 080	153
勉強や成績のことについて								
平成13年出生児	29 793	22 520	9 869	12 651	7 005	5 712	1 293	268
平成22年出生児	20 229	15 025	6 570	8 455	5 068	4 022	1 046	136
社会のできごとやニュースについて								
平成13年出生児	29 793	14 909	4 761	10 148	14 616	10 064	4 552	268
平成22年出生児	20 229	10 987	3 784	7 203	9 100	6 217	2 883	142
父との会話								
学校のできごとについて								
平成13年出生児	27 117	14 316	4 918	9 398	12 345	8 788	3 557	456
平成22年出生児	18 739	11 505	4 675	6 830	6 952	4 950	2 002	282
友達のことについて								
平成13年出生児	27 117	11 721	3 637	8 084	14 842	10 142	4 700	554
平成22年出生児	18 739	9 939	3 684	6 255	8 487	5 875	2 612	313
将来や進路のことについて								
平成13年出生児	27 117	8 901	2 379	6 522	17 644	11 117	6 527	572
平成22年出生児	18 739	6 172	1 611	4 561	12 211	7 705	4 506	356
勉強や成績のことについて								
平成13年出生児	27 117	14 930	4 993	9 937	11 621	8 247	3 374	566
平成22年出生児	18 739	9 938	3 315	6 623	8 455	5 818	2 637	346
社会のできごとやニュースについて								
平成13年出生児	27 117	10 974	3 386	7 588	15 595	9 665	5 930	548
平成22年出生児	18 739	8 023	2 566	5 457	10 379	6 320	4 059	337

注：第13回調査の回答を得た者のうち、母との会話は母と同居している者、父との会話は父と同居している者を集計。

統計表4 子ども自身が考える将来の世代間比較（6頁図4）

（単位：人）

	男児		女児	
	平成13出生児	平成22年出生児	平成13出生児	平成22年出生児
進路について				
総数	15 663	10 622	14 668	10 208
中学卒業後に働くことを考えている	89	57	67	33
中学卒業後は専門学校・各種学校へ進み、その後、働くことを考えている	306	176	397	180
高校卒業後に働くことを考えている	2 118	950	1 396	595
高校卒業後は専門学校・各種学校へ進み、その後、働くことを考えている	1 172	613	2 703	1 392
大学卒業後に働くことを考えている	6 003	4 204	5 419	3 889
具体的にはまだ考えていない	5 697	4 348	4 507	3 890
不詳	278	274	179	229
結婚について				
総数	15 663	10 622	14 668	10 208
10代のうちにしたいと考えている	46	43	84	57
20～24歳でしたいと考えている	2 021	960	4 173	1 558
25～29歳でしたいと考えている	3 133	1 694	3 868	2 031
30～34歳でしたいと考えている	590	392	205	196
35～39歳でしたいと考えている	34	20	7	4
40歳以降でしたいと考えている	9	5	3	3
結婚はしたいが時期は考えていない	1 305	933	1 220	991
結婚はしたくない	469	428	605	693
具体的にはまだ考えていない	7 741	5 853	4 313	4 450
不詳	315	294	190	225
最初の子どもを持つ時期について				
総数	15 663	10 622	14 668	10 208
10代のうちに持ちたいと考えている	16	13	47	38
20～24歳で持ちたいと考えている	685	336	1 822	700
25～29歳で持ちたいと考えている	3 044	1 549	4 966	2 169
30～34歳で持ちたいと考えている	1 486	895	776	552
35～39歳で持ちたいと考えている	147	82	36	20
40歳以降で持ちたいと考えている	16	9	3	1
子どもは持ちたいが時期は考えていない	1 292	839	1 412	961
子どもは持ちたくない	435	396	584	782
具体的にはまだ考えていない	8 201	6 205	4 812	4 748
不詳	341	298	210	237

注：第13回調査の回答を得た者を集計。

統計表5 子どもの将来就きたい職業の有無の世代間比較（7頁図5）

（単位：人）

	総数	就きたい職業が 決まっている	就きたい職業が 決まっていない	不詳
総数				
平成13年出生児	30 331	14 523	15 408	400
平成22年出生児	20 830	9 094	11271	465
男児				
平成13年出生児	15 663	6 559	8 860	244
平成22年出生児	10 622	4 375	5996	251
女児				
平成13年出生児	14 668	7 964	6 548	156
平成22年出生児	10 208	4 719	5275	214

注：第13回調査の回答を得た者を集計。

統計表6 子どもが将来その職業に就きたい理由（複数回答）と  
保護者が子どもに将来就いてほしい職（複数回答）の世代間比較（7～8頁図6）

（単位：人）

	男児		女児	
	平成13出生児	平成22年出生児	平成13出生児	平成22年出生児
子どもが将来その職業に就きたい理由（複数回答）				
就きたい職業が決まっている	6 559	4 375	7 964	4 719
その職業に就きたい理由（複数回答）				
高収入が得られるから	1 811	1 261	1 411	967
地位や名声が得られるから	570	480	344	284
自分の能力や適性が生かせるから	2 734	1 922	3 263	1 910
自分の興味や好みにあっているから	4 825	3 461	6 552	3 792
社会や人のために役立ち、貢献できるから	2 064	1 335	2 964	1 757
失業のおそれがないから	459	242	554	313
親の仕事を継ぎたいから	347	153	195	121
その他	118	267	180	406
保護者が子どもに将来就いて欲しい職（複数回答）				
就いて欲しい職（複数回答）	6 559	4 375	7 964	4 719
収入の多い職に就いてほしい	1 484	1 164	1 376	1 003
社会的な地位や信用のある職に就いてほしい	872	553	763	504
本人の才能を生かせる職に就いてほしい	4 011	2 697	4 711	2 820
子ども自身が望む職に就いてほしい	5 267	3 679	6 638	4 077
世の中の役に立つような職に就いてほしい	1 889	1 095	2 116	1 095
安定した職に就いてほしい	3 644	2 073	3 926	2 114
家業や親の職を継いでほしい	115	47	42	19
その他 <sup>2)</sup>	635	474	625	406

注：1）第13回調査の回答を得た者のうち、「就きたい職業が決まっている」と回答した者。

2）保護者の「その他」には、「職は問わない（とにかく働いてほしい）」「その他」を含む。

## 用語の定義

### (1) 同居者

次の者は含まない。

- ① 長期（おおむね3か月以上）にわたって不在にしている者。
  - ② 現在不在で不在期間が長期にわたることがわかっている者。
- ただし、①、②の者で途中定期的に帰宅する者は同居者としている。

### (2) 就業状況

「有職」

勤め（常勤）、勤め（パート・アルバイト）、自営業・家業、内職、その他を合わせたもの。  
育児休業中等の休業を含む。

「勤め（常勤）」

事業所の所定労働時間を通じて勤務する者。

「勤め（パート・アルバイト）」

同一事業所の一般の労働者より1日の所定労働時間が短い又は1日の所定労働時間が同じでも1週の所定労働日数が少ない者。

「無職」

家事（専業）、無職、学生を合わせたもの。